

令和6年度 静岡県文化奨励賞受賞者(個人・団体)写真



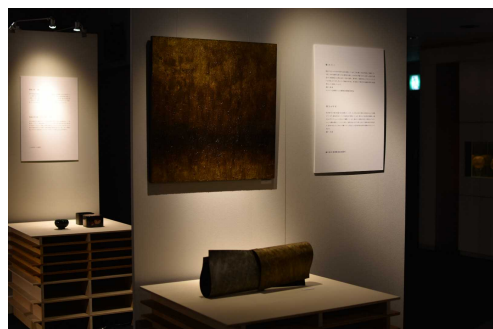
成島 洋子氏



舞台芸術公園野外劇場
『友達』上演風景(2024.4)



藤中 知幸氏



駿河漆器・七人の塗師展(匠宿伝統工芸館 2022.12)
壁掛け『煌(きらめき)』 立体『雙(たぐい)』



起雲閣



地場産品「だいだい」を使った
マーマレード製造作業

成島 洋子(なるしま ようこ)

48 歳

静岡市出身。(公財)静岡県舞台芸術センター芸術局長。SPACが世界的な評価を得る下支えを25年に渡り行う。コロナ禍においては、オンライン開催による演劇祭を短期間でまとめ上げた。地域における劇場とまちをつなぐ活動を積極的に展開するなど本県の芸術文化振興に貢献している。

藤中 知幸(ふじなか ともゆき)

48 歳

東京都出身。漆芸家。気鋭の漆芸家として活躍し、「作家」と「職人」の二つの顔を併せ持つ。海外での作品発表も精力的に行い、日本の漆芸美術の魅力を海外に伝えている。工芸団体の運営にも積極的に参加し、若手の育成にも注力し、漆文化の普及育成に務め本県の芸術文化振興に貢献している。

**特定非営利活動法人
あたまオアシス21**

前身の団体により、1998年から熱海市指定文化財の起雲閣の保存活動を開始。2009年にNPO法人格を取得。2012年から同施設の指定管理者として管理業務を受託し、施設の価値を高める活動とともに、地場産品の生産販売など地域振興にも寄与するなど、本県の文化振興に貢献している。